

表紙等・目次

権利	Copyrights 日本貿易振興機構（ジェトロ）アジア 経済研究所 / Institute of Developing Economies, Japan External Trade Organization (IDE-JETRO) http://www.ide.go.jp
雑誌名	アジ研ワールド・トレンド
巻	121
発行年	2005-10
出版者	日本貿易振興機構アジア経済研究所
URL	http://hdl.handle.net/2344/00005606

1 巻頭エッセイ 虹の彼方のキューバへの願い

宮本信生

特集 キューバ政治・経済の現状

- | | |
|--------------------------------------|------------------------|
| 2 ●特集にあたって | 山岡加奈子 |
| 4 ●キューバの対外経済関係 | カティア・デ・リャノ＝クエスタ |
| 10 ●キューバ経済における脱ドル化の試み—経緯と展望 | イラム・マルケッティ＝ノダールセ |
| 16 ●キューバにおける国家輸出戦略の展開 | グラディス・セシリア・エルナンデス＝ペドラサ |
| 21 ●米国の対キューバ経済封鎖は終りに向かっているのか？ | エステバン・モラレス＝ドミンゲス |
| 27 ●米・キューバ関係の展望 | 宇野健也 |
| 31 ●「ポスト・カストロ」をめぐる諸議論とキューバにおける体制継承準備 | 小池康弘 |
| 35 ●キューバ社会主義政権の権力基盤とベトナム型改革の可能性 | 山岡加奈子 |

40 フォト・エッセイ 街の陰影—イランの道を行く エリック・レヒシュタイナー

44 カルチャー・ショック

外国人のみた日本	来日初日に！	ヨハンナ・ファン・ヘーデル
日本人のみた外国	中国の全寮制（？）幼稚園	伊藤えりか

46 ブックシェルフ

新刊紹介／アジア経済研究所企画・鈴木均編著『ハンドブック現代アフガニスタン』	牧野百恵
レファレンスコーナー／ウェブで探す石油関連情報	泉沢久美子

48 アジア各国・地域 経済統計 図書館資料サービス課

52 研究所だより

◆表紙写真：ハバナ・サンフランシスコ広場の輪タク（写真提供：世界文化フォト）

◆本誌に掲載されている記事などの内容や意見は、外部原稿を含め、執筆者個人に属し、日本貿易振興機構あるいはアジア経済研究所の公式見解を示すものではありません。

アジア経済研究所の刊行物のご案内

アフリカレポート No.41 発売中 735 円

- 巻頭言
 - 最近の日本のアフリカ研究と私 勝俣 誠
 - アフリカ支援問題と生計アプローチ 斎藤文彦
 - AGOA を利用したアフリカの衣料品輸出
 - 輸出志向型工業化の可能性—— 福西隆弘
 - 国連改革問題に対するアフリカ諸国の姿勢
 - アフリカ連合 (AU) の「エズルウィニ・コンセンサス」—— 高林敏之
 - マラウイの女性農民とタバコ生産 高根 務
 - ナイジェリアのエイズ対策とその政策的課題 望月克哉
 - 20 世紀初頭英領アフリカにおける女子教育 山田肖子
 - 政治を映すレゲエ
 - アルファ・ブロンディはいかに「政治」を歌ったか—— 鈴木裕之
 - チャド南部における農民と金銭の関係 坂井真紀子
 - ガチャチャの開始——ルワンダにおける国民和解の現在—— 武内進一

アジア経済 第 46 巻第 9 号 発売中 1,050 円

- 論文
 - マラウイにおける小農タバコ生産の拡大と農村世帯
 - 2 村落実態調査から—— 高根 務
- 研究ノート
 - 中国文化大革命期における紅衛兵の「極左思潮」について
 - 革命委員会の成立を巡る動きを中心に—— 中津俊樹
- 現地報告
 - 変化の中の「伝統」解釈と実践
 - ポスト・ソヴィエト期ウズベキスタンの陶工の事例より—— 菊田 悠
- 学界展望
 - 現代韓国朝鮮学会
 - 設立の経緯と第 5 回全国研究大会の紹介—— …小此木政夫・朴一・服部民夫
- 書評
 - 朝元照雄著『開発経済学と台湾の経験
 - アジア経済の発展メカニズム——』 北波道子
 - 範建亭著『中国の産業発展と国際分業
 - 対中投資と技術移転の検証——』 郝 燕書
 - Ryoichi Yamazaki, *Agriculture in the Mekong Delta of Vietnam*
 岩井美佐紀
 - 岩崎一郎著『中央アジア体制移行経済の制度分析
 - 政府・企業間関係の進化と経済成果——』 橋田 坦
 - 村上勇介著『フジモリ時代のペルー
 - 救世主を求める人々、制度化しない政治——』 清水達也
- 紹介
 - 浅田正彦編『兵器の拡散防止と輸出管理——制度と実践——』 郡司 穰

* 上記価格は消費税込価格です。

* ご購入・お問い合わせは、研究支援部成果普及課（出版物販売＝ Tel: 043-299-9735 Fax: 043-299-9736
e-mail: syuppan@ide.go.jp）まで。

-研究所だより-



ツクストアでもお求めになれます。
どうぞご利用下さい。
(営業日時・水・金及び第1・第3土曜日10:00～17:00 図書館休館日は休業)

▼IDEAS第二五期外国人研修生(平成一七年一〇月～平成一八年三月)一五名が決定しました。研修生の氏名は以下のとおりです。

Mr. Tenzi Soran (ブータン) / Mr. Samith Oeur (カンボジア) / Ms. Jingmiao Li (中国) / Ms. Sangeeta Saxena (インド) / Mr. Soulysak Thammuvong (ミオス) / Ms. Angalan Luvandanya (モンゴル) / Mr. Zn Thant (ミャンマー) / Mr. Buddhi Prasad Upadhyaya (ネパール) / Ms. Jean Elizabeth Dumaos Traballo (フィリピン) / Mr. Prasad Manjula Kulethunga Hettiarachi (スリランカ) / Mr. Soranun Chataporn (タイ) / Ms. Vaniya Erasiri (タイ) / Mr. Jorge Manuel Freitas Da Silva (東ティモール) / Mr. Berdakh Rzaiev (ウズベキスタン) / Ms. Hoai Thi Thu Nguyen (ベトナム)

▼最近の主な海外来訪者

*イスラエル Dr. Afer Sugar (テルアビブ大学モシエダヤンセンター所長) 他一名 8月1日
*タイ Dr. Sompop Manangsan (チェラロンコン大学経済学部助教授) 他4名 8月4日
*中国 Mr. Yan Sheng He (厳聖禾 光明日報東京支局支局長) 他一名

アジア経済研究所図書館主催 2005年度途上国理解市民フォーラム

もっと知りたい途上国 —研究者が語るくらしとたべもの—

現地経験豊富なアジア研究者が、開発途上国の人々の生活を身近に感じていただけるようにわかりやすく講演いたします。参加費は無料です。皆様お気軽にご参加ください。

第2回	10月27日(木) 14:00～15:30	荒井 悦代	地域研究センター 南アジア研究グループ 研究員
スリランカの紅茶	スリランカ(セイロン)は紅茶の産地として有名で、人々は起きてすぐ、10時、お昼ご飯の後、3時、夕食の前後と多い人は1日5回ぐらい、砂糖のたっぷり入ったミルクティーを飲みます。まさに紅茶はスリランカ人の生活の一部となっています。本講座では紅茶を通してスリランカの生活についてお話しします。		
第3回	11月10日(木) 14:00～15:30	清水 達也	地域研究センター ラテンアメリカ研究グループ 研究員
ペルーの飲み物 インカコーラと ビスコ	ペルーを代表する飲み物がインカコーラとビスコ。黄色くてトロピカル・フルーツの味がするインカコーラは、コココーラやペプシコーラよりも人気があり、ペルー国民の味といわれる炭酸飲料です。一方、ブドウの蒸留酒であるビスコは、ペルーが新大陸におけるワインの主要生産地だった17世紀に生産が始まった歴史のある飲み物です。これらペルー独特の飲み物とそれに関わる産業の話などを紹介します。		
第4回	12月1日(木) 14:00～15:30	岩 葉子	地域研究センター 中東研究グループ 研究員
イランの飲み物	イラン人は無類の紅茶好き。どの職場にもお茶くみのおじさんがいて、大きなサモワールにお茶を沸かしています。どろりとしたトルコ・コーヒーも好まれますが、これは飲むというより別の目的が…。イラン人の憩いの場に欠かせない様々な飲み物を紹介します。		

★お申込み方法

参加ご希望の方は、①「途上国理解市民フォーラム」参加希望回(複数可)、②氏名、③連絡先(住所、TEL、FAX)を下記宛にご連絡ください。定員: 各回40名
アジア経済研究所図書館 資料サービス課
TEL: 043-299-9716 / FAX: 043-299-9734 / Email: LID@ide.go.jp

『アジア研ワールド・トレンド』 第11巻第10号 通巻121号

2005年10月1日発行

編集・発行

日本貿易振興機構 アジア経済研究所
研究支援部

〒261-8545 千葉市美浜区若葉3丁目2番2

TEL 043(299)9735 FAX 043(299)9736

http://www.ide.go.jp

印刷

広研印刷株式会社